

Kaspersky Security for Mail Server

～スパムメール／マルウェア対策製品のご提案

2022年4月19日

株式会社カスペルスキー

セールスエンジニアリング本部



Kaspersky Security for Mail Server

Kaspersky Security for Mail Serverは製品（ライセンス）の名称で、Kaspersky Security for Mail Serverをご購入いただくと、以下の3つのアプリケーションを使用することが出来ます。

- Kaspersky Linux Mail Server Security
ソフトウェア版のメールセキュリティアプリケーション。
- Kaspersky Secure Mail Gateway
仮想アプライアンス版のメールセキュリティアプリケーション。
- Kaspersky Security for Cloud Mail
Exchange Online保護に特化したクラウドサービス。

Kaspersky Linux Mail Server Security (LMS) 概要

Linux OS上で動作するソフトウェア版メールセキュリティアプリケーション。

アンチウイルス、アンチスパム、アンチフィッシング、コンテンツフィルタリングを実現。

MTAサーバーやメールボックスサーバーにインストールすることが出来る。

LMS自体にはMTA機能は持たず、Postfix、Sendmail、Qmail、Eximと連携し動作する。

Kaspersky Secure Mail Gateway (KSMG) 概要

ESXi、Hyper-V上で動作する仮想アプリケーション版メールセキュリティアプリケーション。

アンチウイルス、アンチスパム、アンチフィッシング、コンテンツフィルタリングを実現。

ソフトウェア版と異なり、連携するMTAは組み込まれている。

MTAとして動作し、ドメインや転送などMTA機能の設定もKSMGのWeb GUIから行う。

KSMGをクラスター化し同一設定で動作、検知メールバックアップの集中管理も実現。

Kaspersky Security for Cloud Mail 概要

Exchange Online保護に特化したクラウドサービス。

OneDriveなどMicrosoft 365の他のサービスは保護対象外であれば、Kaspersky Security for Microsoft Office 365より安価に保護を提供。

Exchange OnlineのAPIを使用し、ルーティングは行わないため、すぐに使用開始が可能。

隔離メールはExchange Online内に置き、GDPRにも対応。